東京都障害者・障害児施策推進計画改定に向けての意見

東京都手をつなぐ親の会

○ 施設からの地域移行について

令和８年度までの第７期計画において掲げられた目標の600人の達成は難しい現状ではないでしょうか。この課題にはさまざまな問題が複合的に関係しているため、目標を達成するために何を計画し実行すればよいのか、現実的に目に見える形で示していただきたいと思います。地域で暮らす障害のある人たちの暮らしも、親子の高齢化が進み待ったなしの状況の中で、入所施設やグループホームで暮らす人の地域移行の意向確認が義務となり、本人が移行したいと希望しても、体験の場や移行する住まいの受け皿がなければ、いくら意思を表明しても叶えられず、虚しい結果だけが残ります。受け皿づくりと、重度の人を支援できる人材の育成と確保、本人への経済的支援が必要です。国においては入所施設のあり方が検討されていますが、それを踏まえて東京都でも、必要な人に必要な支援が届くよう、福祉分野だけでなく、住宅政策や関係する部署と協働し、施策を講じていただきたいと思います。

○ 強度行動障害の状態にある児・者の支援について

未だ偏見を持たれやすい重度知的障害の人、特に強度行動障害の状態にある人が地域で安心して暮らせるように、その実態やニーズを把握するための調査を行い、本人と家族に必要な支援をしていただきたいです。加えて、都民の理解を深める取り組みにも重点をおいていただきたいと思います。

また、強度行動障害支援者養成については、基礎、実践に加えて対応力向上研修を実施していただいているところですが、中核的人材養成のための体制を整えて真に中核的となりうる人材を輩出するとともに、地域での支援体制を整える取り組みにも力を入れていただきたいです。